

茨城県における野生イノシシの豚熱確認状況 (2022.6.20 現在)と経口ワクチン散布

豚熱関連情報

No.17

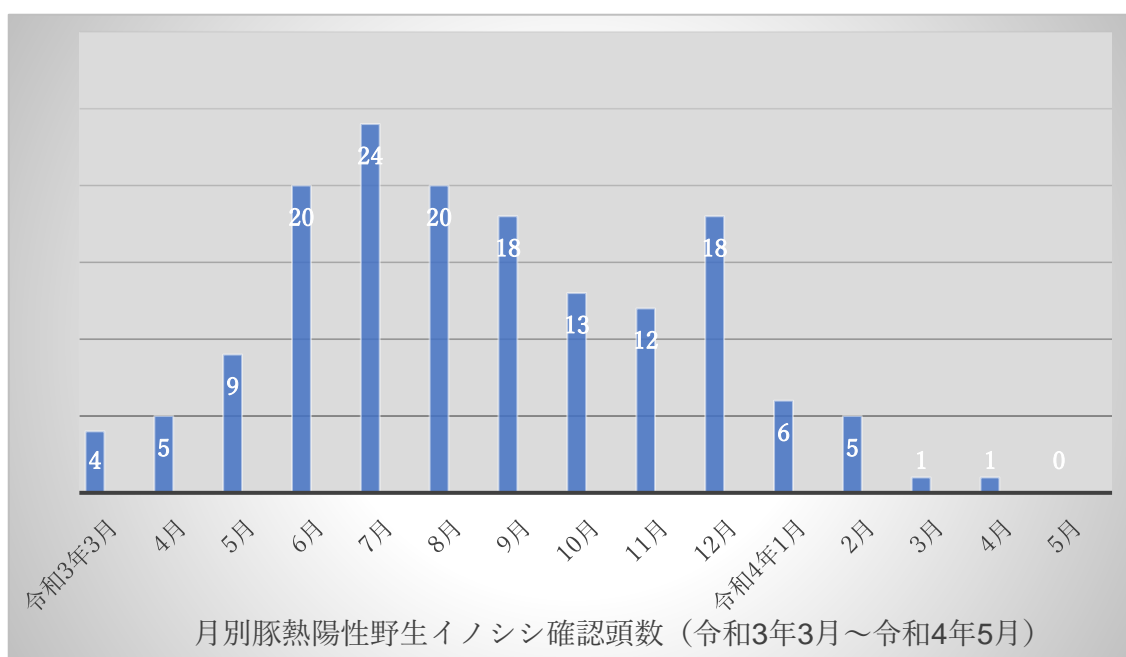


令和4年6月20日現在、豚熱陽性野生イノシシは159例確認されています。

(取手市1例、守谷市1例、常陸太田市13例、常陸大宮市7例、大子町18例、水戸市1例、石岡市23例、高萩市6例、つくば市19例目、笠間市9例、桜川市11例、かすみがうら市15例、城里町24例、土浦市3例、日立市6例、筑西市1例、那珂市1例)

グラフは、豚熱陽性野生イノシシ確認頭数の推移です。昨年5月から増え始め、12月までは毎月20頭前後が確認されていました。

しかし、令和4年1月から激減し、3月、4月は1頭のみ。4月13日以降、陽性個体は確認されていません。



感染地域は、昨年6月に石岡市、7月につくば市、かすみがうら市の県南地域に拡がり、城里町では8月以降、毎月複数頭の陽性イノシシが確認されました。

今春の野生イノシシへの経口ワクチン散布作業は、4月の石岡市、城里町の豚飼養農場での豚熱の発生を受け、例年より早い4月25日から開始され、20市

町で実施されました。

今年も散布作業に参加しました。猟友会の皆さんの話では、イノシシの頭数が減っているとのことでした。

確かに、昨年の散布時には、イノシシの足跡や土を掘り返した跡をたくさん見かけましたが、今年は少なかったような気がします。



【経口ワクチン散布の様子】

豚飼養農場の皆様は、豚熱ワクチンの接種と豚熱ウイルスを農場に持ち込まない対策を継続し、農場関係者以外の方は、農場に立ち入らないこと、登山者やキャンパー等は、野生イノシシの餌となる残飯ごみを放置しないこと、下山や帰宅時には靴の履き替えや、洗浄・消毒を実施するなどの取り組みも重要です。

畜産協会では、畜産会館1階入り口前に、山林に立ち入る方への豚熱ウイルスの拡散防止のお願いのポスターを掲示し、来館者に周知しています。

山林に立ち入る皆さまへ



豚熱ウイルスの拡散防止にご協力をお願いします。

野生いのししの間で豚熱という病気が広がっています。人間に感染することはありませんが、豚に感染して養豚業に大きな被害を与えます。**ウイルスを山林から持ち帰らないよう、ご協力をお願いします。**

買ガール
イフスト：豚山の2015
Ishizuka Motonobu

1

ウイルスは土にも含まれます。靴の泥は山で落としましょう。

2

いのししを誘引しないよう飲食物は捨てずに持ち帰りましょう。

3

家畜がいる施設に近寄らないようにしましょう。

4

いのししの死体を見つけたら管轄の自治体に連絡して下さい。

NAP 中央畜産会
JAPAN LIVESTOCK PRODUCTION ASSOCIATION

農水省 HP <https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/consumer.html>



【登山者等への交差汚染防止対策周知ポスター】